

令和3年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	12	議席 番号	19	氏名	鈴木 弘 議員	1 / 1					
発言項目				要 旨		答弁者					
1	脳健康寿命を延ばす対策～認知症にならないために～			<p>医学の発展や健康寿命の延伸対策により身体的な平均寿命は延びているが、脳の寿命は延びていないと言われており、「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」によると2012年における認知症患者数は約460万人で高齢者（65才以上）人口の15%、2025年には高齢者人口の20%に当たる730万人が認知症になると推計している。そこで伺う。</p> <p>(1) 市の認知症者数の推移を伺う。</p> <p>(2) 市の認知症予防対策について。</p> <p style="margin-left: 20px;">① 認知症予防にはどのようなことが大切か伺う。</p> <p style="margin-left: 20px;">② 市の予防対策はどのように行われているか伺う。</p> <p style="margin-left: 20px;">③ MCI（軽度の認知症）はいかに発見されるのか伺う。</p> <p>(3) 順天堂大学医学部名誉教授新井平伊医師が酒を飲む60歳と飲まない60歳の脳の萎縮度合の調査を著書で紹介している。それによると、萎縮が少ないのは「①酒を飲まない人、②少量だけ飲む人、③大量に飲んでいたが止めた人、④大量に飲んでいる人」の順としている。この調査により、飲酒が脳に直接的なダメージを及ぼし、神経細胞がやられてしまう事実が判明したとのことである。市は認知症と飲酒の関係をどう捉えているか伺う。</p> <p>(4) 有効な検査はあるのか伺う。</p> <p>(5) コロナ禍の中で認知症と認定されている要介護者の数に変化はあるか伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長					
2							森林における新たな取組について		<p>(1) 山林を舞台にした健康寿命延伸のために「クアオルト健康ウォーキング」という施策がある。全国21の市町が実施している。様々な山林形態のある富士宮市は格好の舞台になると思う。検討すべきと考えるがいかか。</p> <p>(2) 市有林の管理を事業者へ経営管理委託するということは考えられないか伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
3											